

学校点描

体育館の真っ暗中「生徒さん達が不安になるから」と私の耳元で太田さんが話しました。

《M中学校》

NO. 6 H27. 7. 28

担当：教頭

先週は、夜遅くまで担任の先生が一生懸命、通信表の所見の文章を作成しました。一人一人に伝えたいこと。良い点を言葉を使って表現していきます。良い点だけでは、人は伸びません。改善してほしい点やもっと伸ばしてほしい点についても、あの限られた枠の中で表現するのですから、おのずと何度も何度も書き直しをしての完成となります。良い点を先に書いてから、あとに改善点を書くのか、その逆が良いのか。頭の中に生徒一人一人を浮かべ想像しながら、作業は深夜まで続きます。

想像と優しさとありがとう

22日（木）は、県中総体の壮行式、通信表配布に先がけて、PTA 研修部主催の“教育講演会”が開催されました。講師は、生まれつき左手全指欠損という障害を持ちながらパラリンピックで、銅・銀メダル、ワールドカップで総合2位という輝かしい実績を持つ太田渉子さんでした。残念ながら、先週の猛暑がこの日も続き、おまけにスクリーンに映像を映すため、カーテンをしなくてはならない悪環境での講演会となってしまいました。それでも太田さんは熱心にお話をしてくれます。生徒たちも、暑い中、必死に姿勢を崩さずに聞こうと努めていました。大したものです。太田さんが伝えたいことは、スポーツを通して自分が成長したこと、その裏に“感謝”の心が芽生えていったことという話でした。

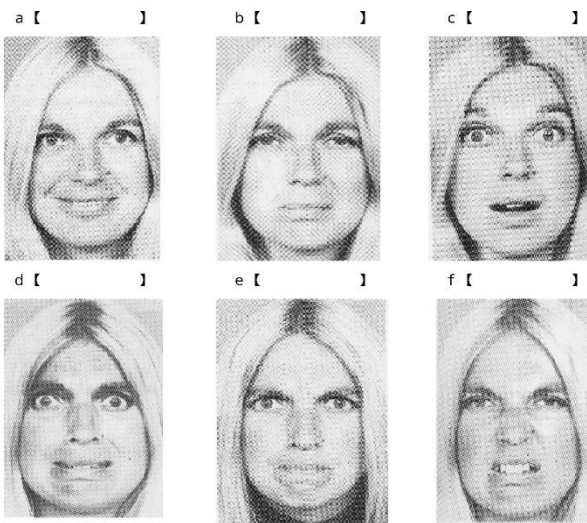
残念なことに、話の途中、太田さんの競技の様子を映像に映し出す場面でトラブルが発生。会場が真っ暗になってしまいました。機器の調子からなかなか復旧にいたりません。

太田さんがマイク越しに「すみません体育館の電気をつけてください。眠くならないように」と語ります。会場は緊迫の雰囲気から一気に笑いのあるやわらかな雰囲気になりました。私の耳元で太田さんがこっそりいいます。「生徒さんが不安になりますよね」と。

全学年の技術の授業で次の写真をみて考えてもらいました。『コミュニケーションの技術』です。次の表情から、驚き・恐怖・嫌悪・怒り・幸福・悲しみのどの表情か判断してみようと問いを出したのです。

面白いことに、1学年から3学年にいくにしたがい、答えが多様になりました。

3年生で授業をすると、さまざまな考えが出てきて、意見がひとつにはまとまりません。aの



幸福な表情を嫌悪の表情に見えてきたり、bの
悲しみの表情を幸福な表情ではと考えたり、d、
e、fの下段はいずれも怒りの表情ではないか
と考えたりするのです。

想像力の授業と言ってもいいでしょう。3年
生の多様さは、人生を1・2年生より少しだけ
長く生きた経験値です。中学生生活を通して人間
関係づくりの難しさを味わった経験値です。究
極に嬉しいときは、人は泣くし、究極に悲しい

ときは、笑うことだってある。人は、究極な状況になると、まったく逆の表情になるということ
を説明すると、納得した顔で大きくうなずきました。

「だから、いじめを受けている子は、時にニコニコ笑うのです。」と、最後に付け加えます。

想像力が働かない人は優しくはなれません。いくら話上手でも、友人が少ない人がいます。無
口な人でも、周りに人が集まってくる人もいます。話すことより、聞くこと。相手の身になって
聞くこと、そこにも創造力が働くわけです。

教育講演会が終わり、引き続き県中総体の壮行式です。校長先生が不在のため、私が代わりに
選手に話をします。

「あたり前の反対は何ですか？全校のみんなも考えてほしい。あたり前とは、“有ることが当
然なこと”ならば、その反対とは、“有ることが難しいこと” “有り^あ難^{がたい}いこと”

そう、答えは“ありがとう”です。感謝の気持ちを持って、大会に臨んでください」

太田さんの“感謝”というメッセージをなんとかつないで大役を終えることができました。

きりとりせん

ご意見・ご感想をお願いします。

Shinyatk1616n@yahoo.co.jp